



春江中だより

【は】っけん・気付く つなが【る】 【え】がおを創り出す



春江中学校教育目標

- 1 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 2 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 3 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

臥薪嘗胆～自分らしく生きるために～

校長 横枕 耕史

私はサイクリングを趣味としています。今年も富士山5合目まで自転車で登る富士ヒルクライムに挑戦してきました。約24kmと続く上り坂をひたすらペダルを踏み、クランクを回し、チェーンが動かし後輪へとパワーを伝えながら自転車を前へ前へと進めていきます。ヒルクライムは、坂の斜度や距離とともに両足の筋肉が悲鳴をあげ、心拍数も上がり、呼吸が乱れ、過酷で苦しい状況を堪え我慢しながら必死に坂を上るハードな自転車競技です。今年も自己設定した目標タイムクリアとはいきませんでした。無事完走できました。ヒルクライムに挑戦して得られる爽快感や達成感は格別で、自分らしく生きていくと実感できました。



さて、生徒一人ひとりが中学校で過ごす3年間は、「自分らしさ」を見つけ形成するための貴重で大切な時間になります。学校での学習や部活動、趣味など興味や関心のあることにチャレンジし、トライ&エラーを繰り返しながら、何かに熱中することが、自らの成長に大きく影響していきます。

6月7日に行われた生徒総会にて生徒会本部役員より生徒会スローガン「臥薪嘗胆」が発表されました。「私たち春江中生は、『努力は報われる』という言葉の通り、自ら進んで苦労を重ねること、目標達成のために努力・苦心を重ね、自分の成長に繋げるために、あえて苦労することに挑戦し努力をしていきましょう。」と力強く宣言され、これからの活躍が楽しみです。

本校は令和6年度江戸川区教育課題実践推進校として「学力向上」を目指しています。各教科では単元が終わったタイミングで単元テストなどを複数回実施し学習内容の定着を促しています。生徒はフォーサイト手帳を活用し学習計画を立て、主体的に家庭学習に取り組む習慣を身に付けてきました。また、1・2学

期の定期考査は、技能4教科と5教科のテスト実施日の間隔を取りどの科目にも十分準備してテストに臨むようにしています。そこで、定期考査対策として生徒会企画「放課後自習室」の取組が行われました。テスト前の放課後に会議室や図書室を開放し、自習ができる環境を整え、生徒同士で互いに学ぶ姿勢を競い、教え合いながらテストに向けて勉強しようというものでした。自習室では、目標を定め自ら学びに向かう生徒の素敵な姿が多く見られました。

また、6月は運動部の3年生にとって最後の大会となる夏季総合体育大会が行われ、各部がそれぞれの試合で精一杯奮闘しよく頑張る姿を見せてくれました。勝敗に関わらず、これまで部活動の仲間と一緒に喜怒哀楽をともにしながら文武両道で頑張った時間は、一生の記憶に残る大切なものになるでしょう。

本校生徒をはじめ思春期の中学生には、自分が知らない可能性を秘め、伸び代がまだ多くあるはず。臥薪嘗胆で取り組んだことが自分のキャリアを築くための基盤となり、未来をポジティブに自分らしく生きることにつながるでしょう。

*** 自分らしく生きるポイント ***

- 自分の興味や関心を探ろう…何に興味があるか、好きなことや得意なことを見つけよう。
- 失敗を恐れず挑戦しよう…挑戦することで新しい発見があり、成長の機会となります。
- 自己理解を深めよう…自己分析を通じて、自分の強みや弱みを把握しよう。
- 経験を積もう…学校の内外での体験や活動に参加し、実際の仕事や社会について学ぶ機会を作ろう。
- コミュニケーション能力を高めよう…人との関わり方や協力の仕方を学び、良好な関係を築こう。
- 多様な職業を知ろう…様々な職業について学び、自分に合った仕事を見つける情報を収集しよう。
- 将来の目標を設定しよう…具体的な目標を設定し、そのために必要なステップを考えよう。